



日・アゼルバイジャン経済概観

2024年4月24日
在アゼルバイジャン日本大使館

貿易高

【貿易高】 21年45.5億円 22年74.7億円 23年100.8億円
【主要品目】 日本の輸出：鉄鋼、車、ゴム製品等（23年82.6億円）
日本の輸入：非鉄金属、ワイン等（23年18.2億円）

進出日系企業

【進出日系企業数】 17社（2023年10月時点）
【主な進出企業】
伊藤忠商事、INPEX（旧：国際石油開発帝石）（石油・ガス）、JTI（タバコ）、トヨタ・コーカサス（自動車）等。
この他、貿易、小売・卸売、農業等の分野で日系企業が活動。

日本企業はACG油田に12.96%（INPEX9.31%、伊藤忠3.65%）、BTCパイプラインに5.9%（伊藤忠3.4%、INPEX2.5%）の権益を保有。

経済合同会議

両国の政府・経済関係者間で経済・貿易等の関係発展に関して協議。これまでに計11回開催。今回は2022年バクーで開催。日本側議長は今井・伊藤忠商事専務理事、アゼルバイジャン側議長はババエフ環境天然資源大臣（COP29議長）。

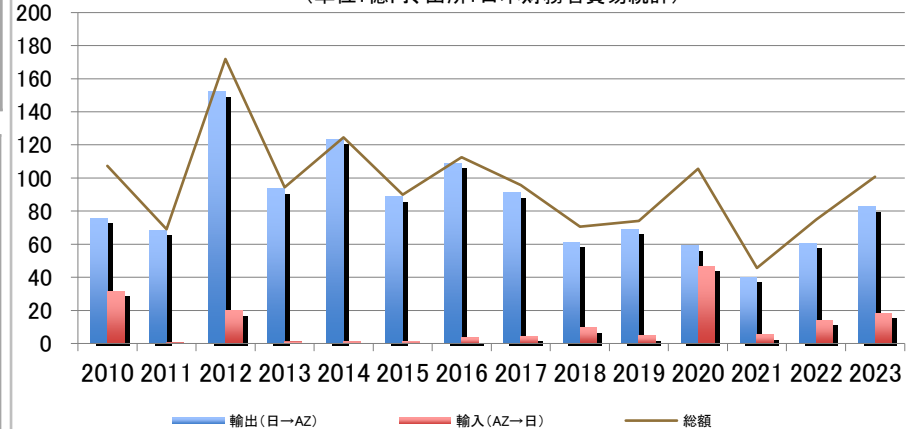
日本による援助実績

【経済協力の累計総額】 約1,154億円（2023年9月時点）
【主な経済協力案件】

1. 円借款
 - ・セヴェルナヤ1ガス火力複合発電所建設（約390億円）
 - ・シマルガス火力複合発電所第2号機建設（約290億円）
 - ・地方都市上下水道整備（約330億円）
2. 無償資金協力：緊急医療機材整備、土地改良・灌漑機材整備等
3. 草の根・人間の安全保障無償資金協力：診療所建設、幼稚園建設、灌漑設備設置、給水設備設置等（累計285件、約2400万米ドル）

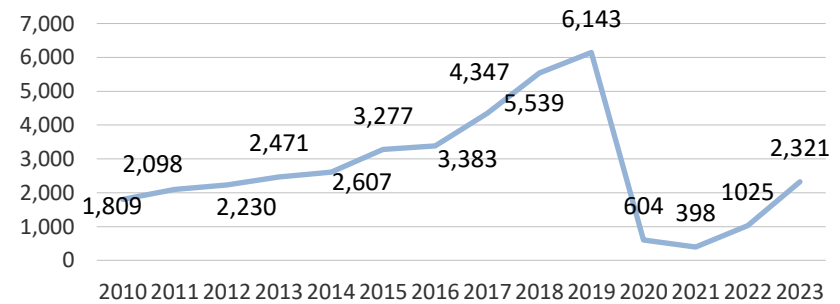
貿易高推移

日・アゼルバイジャン貿易高推移
（単位：億円、出所：日本財務省貿易統計）



日本人来訪客数

アゼルバイジャンへの日本人来訪者
（2010～2023、単位：人、出所：国家統計委員会）



2016年12月のアゼルバイジャン政府による査証取得要件の緩和や日本国民を含む空港でのアライバルビザ付与開始によって、当国への日本人来訪者数は増加。2020年新型コロナウイルスの感染拡大を受け大幅に減少。